

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
大井記念	2018/5/23	SI	大井	2000m	スローペース	重	能力比較

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	ベイシャゴンジセ	牡7	57	本田	ストーミングホーム	ミスプロ系	ラストタイクーン	ミスプロ系	D	B	B	C	C	C		
2	2	ディアドムス	牡6	57	岡部	ジャングルポケット	ナスルーラ系	アグネスデジタル	ミスプロ系	B	B	B	B	B	B	▲	
3	3	タマモネイヴィー	牡7	57	的場文	ネオユウヴァース	サンデー系	カコイシーズ	アリダー系	D	C	B	C	C	C		
4	4	リッカルド	セ7	57	矢野	フサイチリチャール	ノーザン系	オペラハウス	ノーザン系	A	B	B	A	A	B	○	
5	5	サージェントバッジ	牡6	57	吉原	ステイゴールド	サンデー系	Fusaichi Pegasus	ノーザン系	D	A	C	C	C	C		
	6	ユーロビート	セ9	57	赤岡	スズカマンボ	サンデー系	エリシオ	ノーザン系	D	A	B	C	C	C		
6	7	モンドアルジェンテ	牡6	57	御神本	クロフネ	ノーザン系	サンデーサイレンス	サンデー系	C	A	B	C	B	B	△1	
	8	シャドウパーティー	セ9	57	高松	King's Best	ミスプロ系	Derset Prince	ノーザン系	D	C	D	D	D	D		
7	9	キングニミッツ	牡5	57	石崎駿	スパイクユール	サンデー系	Kingmambo	ミスプロ系	D	C	B	B	C	C		
	10	サブノクロヒョウ	牡5	57	笹川	ロージズインメイ	ヘイロー系	カコイシーズ	アリダー系	D	B	C	C	C	C		
8	11	ウマノジョー	牡5	57	山本聡	ウイングアロー	ノーザン系	エンドスウィープ	ノーザン系	D	B	C	C	C	C		
	12	ヒガシウィルウィン	牡4	57	森	サウスヴィグラス	ミスプロ系	ブライアンズタイム	ロベルト系	A	A	A	A	A	B	◎	

隊列図	見解	ラップタイム
ヒガシ リッカ キング ユーロ ディア ウマノ サブノ サージ モンド ペイシ シャド タマモ	メンバーを見渡してまず気になるのが展開面。逃げ馬不在のメンバー構成で、道中の隊列は左の通りになるか。逃げるのはスタートが決まれば、サブノクロヒョウが行きそうだが、ヒガシウィルウィンが思い切って行きそう。先行力のあるリッカルドは重賞3連勝がすべて好位からの抜け出し。帝王賞に向けても折り合い重視で挑むはずで、前に馬を置いた競馬をさせるだろう。どういう隊列になっても序盤のペースはそれほど速くならない。しかし、人気馬2頭が前々で運ぶ上、ディアドムスを管理する森下調教師は「強気のレース運びで、リッカルドに真っ向勝負を挑む」とコメントしており、勝島王冠のようなマクリ策が濃厚。スタート力はないが、持久力はあるモンドアルジェンテも早めのロングスパートを打ってくるだろう。3コーナー手前からレースが徐々に動いていき、最後はなんだかんだポテンシャル勝負になりそう。純粋に大井2000mで最も強い馬が勝つのではないかな。それでは予想にいきましょう。	回顧
スローペース	本命は <b>ヒガシウィルウィン</b> が生え抜きの地方馬として意地を見せる。(以下省略)	次走狙い馬

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	ペイシャゴンジセ		大井で【2.1.0.0】と抜群の適性を見せているが、今回は元JRAのオープン馬（ディアドムス、リッカルド、モンドアルジェンテ）が相手。本馬は1600万下止まり。このメンバーに入ると見劣る。		
2	2	ディアドムス	▲	勝島王冠→報知オールスターカップの連勝時は南関東を引っ張っていく存在になるのではと思われたほど。前走プリリアントカップは3着に敗れたが、休み明けを考えれば、及第点といえる走りだろう。叩き2走目で状態はさらに上がっており、リッカルドとの着差は詰まるはず。		
3	3	タマモネイヴィー		末脚堅実な差し馬だが、ややピークを過ぎた感があり、近走は掲示板が精いっぱいという現状。昨年の勝島王冠ではディアドムスに完敗。リッカルド、ヒガシウィルウィンと戦う以前にディアドムスに先着するのも難しいだろう。		
4	4	リッカルド	○	報知グランプリカップでは今年のマーチステークス3着ロワジャルダンが全くついていけず、フジノウェーブ記念ではオメガヴェンデッタに完勝。あの2戦を見るだけでもスタートグレードレベルといっている。ただ大井2000mは本質的に長いのかも知れない。		
5	5	サージェントバッジ		南関東のレースを見ていると、JRAからの転入2戦目でガラリイ姿のパターンはあるが（先週の川崎若葉オープンのナムランサイなど）、本馬は1600万下止まりだった馬。仮に本来の走りが出来ても、元オープンクラスのディアドムス、リッカルド、モンドアルジェンテには先着できないのでは。		
	6	ユーロビート		昨年の大井記念ではタマモネイヴィー、ウマノジョーに完敗。年齢の影響か2000m前後では気持ち短くなっている。展開的にもスタミナが問われるレースにはならないだろう。		
6	7	モンドアルジェンテ	△1	レースセンスが全くなく、皐月盃の走りには期待より不安を抱かせたが、今回は12頭立ての少頭数、大箱の大井2000m。純粋なポテンシャルが問われるレースになれば、レースセンスのなさをそこまで気にする必要はないか。ディアドムスが失速した時は本馬が差してくるはずだ。		
	8	シャドウパーティー		南関東に転入後、レースに参加するだけという現状。他地区に移籍でもしない限り、変わり身はないだろう。		
7	9	キングニミッツ		レースセンスに長けており、堅実に走るタイプだが、ここはさすがに相手が強いのか。重賞で好走したのは2戦とも長距離戦。		
	10	サブノクロヒョウ		昨年の大井記念ではローズインメイ産駒らしい大穴をあけたが、その後は苦戦続き。前走プリリアントカップも8着と完敗。相手はさらに強化されており、苦戦必至だろう。		
8	11	ウマノジョー		昨年の大井記念勝ち馬だが、今年は当時と勢いが違う。前走プリリアントカップでは休み明けのディアドムスに敗戦。ディアドムスは今回が叩き2走目。2頭の着差は広がるだろう。		
	12	ヒガシウィルウィン	◎	ヒガシウィルウィンが東京大賞典並みのパフォーマンスを出せれば、リッカルドと互角の勝負をしても全く不思議ではなさそう。しかも東京大賞典はJRAの一級線と同じ位置で走る精神的にキツイ競馬。ストレスが少なければ、時計はもっと詰まっていこう。		